



丹沢大山 クリーンピア21

平成22年10月1日発行

第33回クリーン キャンペーンが 開催されます

平成22年10月17日(日)清川村会
場でのイベントを皮切りに、今年も
「丹沢大山クリーンキャンペーン」が
スタートします。今年も、11月21日
(日)の相模原市の中央会場を中心に、
県内7市町村に会場を設置し、キャン
ペーンを実施します。



紅葉の見ごろを迎えるこの季節、
登山やハイキング、川遊びなど自然
を楽しむ方々が大勢いらっしやいま
す。また、近年、自然への関心が高
まる一方で、残念ながら、マナーの
悪さやゴミの問題
も数多く指摘され
ています。

クリーンキャン
ペーンを通して、
一人でも多くの方
に、ゴミ問題の深

刻さ、自然環境を守ることの大変さ
や大切さ、マナーを守ることの必要
性などをお伝えしていきたいと思っ
ております。

日時	主催者	会場	連絡先
11月21日(日) 8:30~	[中央会場] 相模原市・ 他地域団体	相模原市緑区鳥屋地区	相模原市津久井環境課 042-780-1404
10月23日(土) 8:30~	秦野市・ 他地域団体	ヤビツ峠登山口(バス停) 及び 大倉登山口(バス停)	秦野市観光課 0463-82-9648
11月3日(水) 9:30~	厚木市・ 他地域団体	市内ハイキングコース	厚木市生活環境課 046-225-2750
11月6日(土) 9:00~	伊勢原市・ 他地域団体	大山登山口	伊勢原市商工観光振興課 0463-94-4711
11月14日(日) 9:00~	松田町・ 他地域団体	松田町寄中津川周辺	松田町環境経済課 0465-83-1228
10月24日(日) 9:00~	山北町・ 他地域団体	丹沢湖・河内川周辺	山北町生活環境課 0465-75-3645
10月17日(日) 8:30~	清川村・ 他地域団体	村内全域	清川村産業観光課 046-288-3864

表丹沢クリーン大作戦!!

実施報告



を行った。

調査の結果、ビン・カンなどの不燃物のほか、家具などの不法投棄物や山林関係者等の作業後に残されたものとみられるトタンやドラム缶などが見受けられた。

中には、数十年前のものと思われる空き缶なども発見され、これまで、大掛かりな清掃活動は行われていなかったことが浮き彫りとなった。

このため、丹沢の自然環境の再生・保護、さらには、魅力ある丹沢を取り戻そうと、3月の1ヶ月間を「丹沢環境強化月間」と位置づけ、表丹沢の清掃活動を実施した。

実施期間は、平成22年3月6日(日)から31日(水)までの間で、総延長

15.7キロメートルの表尾根縦走コースを中心に行った。

参加者の確保については、丹沢山小屋組合



などの協力の下、ボランティア団体などに呼びかけをしたほか、新聞などメディアを積極的に活用し、一般参加者に対する周知・募集を行った。その結果、延べ328人の参加者を確保することができた。

実施方法としては、尾根道沿いを中心に、カン・ビン・トタンなどの不燃物を回収しながら山を登り、書策小屋周辺、ヤビツ峠、県立秦野戸川公園の3箇所拾ったゴミを集積。ヤビツ峠、県立秦野戸川公園に集積したゴミについては、直接清掃工場

へ搬入、書策小屋周辺のゴミについては、ヘリコプターで戸沢の出会いに搬送し、その場で分別作業



を行った後、清掃工場へ搬入した。

3月は、天候に恵まれず、一般参加者を対象とした清掃予定日は、降雪のため、翌週に順延された。

その後のゴミの搬出作業も、積雪の影響で難航したが、無事に完了し、合計で3.7tのゴミを回収した。

今回の清掃活動により、登山者のもとより、一般市民を含め、大勢の方々に山へ目を向けてもらう良い機会となった。

今後は、継続的かつ広域行政で取り組んでいきたいと考えている。

山岳トイレ紙持ち帰りの普及啓発について

自然環境保全センター

昨年(平成21年)7月の丹沢大山ク

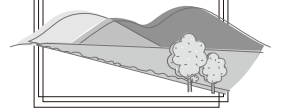
リーンピア21第32回総会にて「山岳トイレ紙持ち帰りの普及啓発」の試行的実施について了解されました。それを受け、10月の丹沢大山クリーンキャンペーンの際に、伊勢原市商工観光振興課及び秦野市観光課と連携して、中央会場である伊勢原市大山登山口と秦野市のヤビツ峠及び大倉登山口で「山のトイレマナー袋」を配布しました。登山者の皆様に快く袋を受け取っていただけるなど、好評をいただいたので、引き続き、この活動をもっと広げていくことに

しました。

また、平成22年6月5日には、山北町中川の「西丹沢バス停付近」にて、かながわパークレンジャーと自然公園指導員さんと協働で「トイレ紙持ち帰りキャンペーン」を実施しました。「西丹沢」を活動の場所としたのは、ツツジの花の見ごろを迎えるこの季節、それを楽しみにたくさんの方々がいらっしゃること、コースの性質上、行動時間が長いためトイレの問題も深刻なためです。当日は、西丹沢自然教室のスタッフの方にもご協力をいただき、西丹沢バス停前にて、訪れる登山者に「山のトイレマナー袋」を配布し、トイレ紙の持ち帰りの必要性について説明をしました。その結果、「山のトイレマナー袋」は約400部を配布し、多くの登山者に「トイレ紙持ち帰り」の普及啓発活動を行うことがで



ました。しかし、実際に活動してみると、出発を急ぐ登山者の方へ説明の時間がとりにくかったなどの課題も見つかりました。



トイレ紙持ち帰りキャンペーンとは？ どうして、「トイレ紙持ち帰り」が必要なのか？

県が設置した土壌処理方式の山岳公衆トイレは避難小屋を含めて8箇所ありますが、電気と水道がないため通常の水洗トイレのような処理能力がありません。バクテリアにより分解するため、紙の分解には多くの負荷がかかりますので、軽減し、処理能力を確保します。山の中のため資機材の搬入ができなく、修理が発生すると時間と費用が多くかかります。



トイレ紙持ち帰りキャンペーンの具体的な活動内容は？

- 「使用済みペーパー持ち帰り袋」の配布
- トイレ紙持ち帰りの呼びかけ
- あらかじめ登山口でトイレを済ますことの呼びかけ
- パネルを使って山でのトイレ事情についてのご案内

この「山岳トイレ紙の持ち帰り」の普及啓発活動は始まったばかりです。これからも「山岳トイレ紙の持ち帰り」のマナーが定着することを目指して工夫を重ね、丹沢のゴミ持ち帰り運動が定着してきたように地道な活動を行っていきたいと思っています。

キャンペーンで配布しましたトイレ紙持ち帰り袋は、北海道大学に事務局のある「山のトイレを考える会」の「山のトイレマナー袋」をゆずっていただきました。



ボランティア活動団体の紹介

神奈川県山岳連盟



二ノ塔直下でのゴミ回収作業

は埋土処理投棄物の撤去(往年のプールの陰に隠れたものであったこと)から、岳連では「負の遺産」と呼び取り組んだ。昨年からはゴミ回収以外に二ノ塔直下の禿地への植樹を合わせ実施し、今年から「環境登山」と改称することにした。後者の丹沢大山クリーンピア21では、岳連推薦の自然保護指導員・自然公園指導員及び加盟団体(郡市山岳協会)が主体と位置付け、活動を実施してきている。

岳連の山のゴミ問題への対応は、「環境登山(清掃登山)」と「丹沢大山クリーンピア21」の二つからなる。前者は、連盟創立50周年の平成14年を機に行動も新たに実施してきたもので、大倉尾根源次郎沢源頭(2年間)及び二ノ塔頂上南面直下(4年間)



ボーイスカウト伊勢原



丹沢大山クリーンキャンペーンに参加

ボーイスカウト伊勢原は、毎年11月中旬の日曜日に大山第一駐車場に全員集合し、小学生のビーバー隊・カブ隊はケープルカーを利用し、下社・頂上間を、小6と中学生のボーイ隊は、下社・見晴台・日向と下社・蓑毛それぞれ工夫したコースのごみ拾い活動を展開し、常日頃のごみ持ち帰りと美化清掃の心がけを実践に取り組んでいます。

また、野外活動における近隣の山

への活動に「きれいな川の水」や「最近多く見られるヤマビル」等の自然界の活動についても実地体験を通しての学習に取り組んでいます。

編集後記



最近、「山ガール」という言葉をよく耳にします。本屋さんには、登山やハイキングの本や雑誌がたくさん並んでいます。一時の流行りかもしれませんが、多くの人が山をはじめ「自然」に興味や関心を持ってきているのだと思います。この機会に、一人でも多くの方に「クリーンピア21」の活動を知っていただければ幸いです。

編集・発行

丹沢大山クリーンピア21
事務局 神奈川県自然環境保全センター
自然保護公園部自然保護課
神奈川県厚木市七沢六五七
電話(0)四六二四八一六六八二